

第8回坂研究会報告書

文責 松本崇男

日時 2017年11月16日(木) 午後6時～8時

場所 文京区区民会議室 3F・B 会議室

出席 15名

テーマ1 横関英一『江戸の坂東京の坂』より 「坂の修繕と堀坂」について
「堀坂」が「宮内坂」→「源三坂」→「堀坂」と変化していった過程および江戸時代の坂の補修について検証した。
☆宮内坂は玉取堀家・堀利重の二男堀利直(通称宮内)が分家を起こし、坂脇に屋敷があったことに由来(明暦江戸大絵図に「堀宮内」の名が載る)。
☆源三坂は代々源三郎を名乗る名主鎌田源三郎の屋敷があったことから「源三坂」と呼ばれた。
☆「堀坂」石標(文政五年の銘あり)を立てたのは堀内蔵助利周(御府内往還其外沿革図・文政元年之形に堀内蔵助の名が載る)であること。石標をたてたことには、堀家が長く堀坂の補修を行ってきたことが考えられる。
(担当 松本崇男)

なお、研究会に先立って5時30分より6時まで堀坂フィールドワークを実施した。

テーマ2 坂名の命名と坂標事情について「駿河台西町会」の例が報告された。
坂標設立年 昭和50年(1975)1月
設置者 駿河台西町会
坂標の形 自然石に坂名が刻まれている
町会がたてた坂標(坂名)には、いくつかのケースが認められる。
旧坂名と同じ坂名: さいかち坂、雁木坂、女坂、男坂
新たに命名された坂名: 文坂
旧坂名と異なる新坂名: 仲坂(千代田区がたてた坂標「池田坂」が併設)
吉郎坂(旧坂名は胸突坂)
(報告者 松本崇男)